

タスク・シフティング 推進に関するヒアリング資料

2019/7/20作成

公益社団法人 日本小児科学会

※全部門、外来、小児病棟、専門病棟（NICU PICUなど）
においてそれぞれ効果が高いものについて列挙した

1 - 1. 現在医師が担う業務のうち移管可能と考えられる業務（全部門）

	業務内容	移管先	ボリューム	移管が可能と思われる理由
1	意見書・申請書および行政への書類の下書き “診断書下書き 定型診断書の作成” 紹介状返書の下書き など	医師事務 作業補助 者	10-15分 ／通	ある程度のスキルの蓄積があり医師の確認があれば可能 現行法のもとメディカルクラークが実施可能な行為であるが業務移管が進んでいない
2	病名仮入力 DPCの一部の入力代行 各種サマリーの訂正	診療情報 管理士	5-10分 ／件	診療録の記載内容から判断が可能
3	“発達検査（新版K式・WISC・ADOSなど）” 心理的問題を抱える子どもの保護者及び家族への心理的支援に関する業務	公認 心理士	1~2時間 ／件	公認心理士の役割は「心理に関し支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導、その他の援助を行うこと」とされている
4	食事オーダー・栄養指導	管理 栄養士	20-40分 ／件	現行法のもと看護師、栄養士が実施可能な行為であるが、業務移管が進んでいないため オーダーは栄養管理士が適任

1 - 2. 現在医師が担う業務のうち移管可能と考えられる業務（外来）

	業務内容	移管先	ボリューム	移管が可能と思われる理由
1	診療録の作成補助 救急外来における病歴聴取 の電子カルテ記載	医師事務 作業補助 者	5-15分 ／件	現行法のもとドクタークラークが実施 可能な行為である 実際には業務移管は進んでいない
2	採血（外来）	看護師	約10分 ／件	現行法のもと看護師が実施可能な行為 である なお、1件につき2-3人の人手を要する
3	抗生剤等の静注（外来）	認定された 看護師	10分/件 (準備含む)	特定医療行為の研修を受け、認定された 者であれば可能
4	静脈路確保（外来）	看護師	15分/件 (準備含む)	すでに行われている ただし開業医や一部病院に限られる
5	ワクチン接種	看護師	約15分/件 (準備・書類 の処理含む)	現行法のもと看護師が実施可能な行為で ある 実際には業務移管が進んでいない
6	薬の説明や服薬指導（外来）	薬剤師	1日20分程度 ／件	相応の研修・研鑽を積んだ小児科専門薬 剤師であれば可能

1 - 3. 現在医師が担う業務のうち移管可能と考えられる業務（一般小児病棟）

	業務内容	移管先	ボリューム	移管が可能と思われる理由
1	採血（一般小児病棟）	看護師	約10分/件	現行法のもと看護師が実施可能な行為である なお、1件につき2-3人の人手が必要
2	抗生剤等の静注（一般小児病棟）	認定された看護師	10分/件（準備含む）	特定医療行為の研修を受け、認定を受けることで可能
3	静脈路確保（一般小児病棟）	看護師	15分/件（準備含む）	すでに行われている ただし開業医や一部病院に限られる
4	胃管挿入	認定された看護師	10分/件（準備含む）	特定医療行為の研修を受け、認定を受けた者であれば可能
5	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	認定された看護師	10分/件（準備含む）	特定医療行為の研修を受け、認定を受けた者であれば可能
6	気管カニューレ交換	認定された看護師	10分/件（準備含む）	特定医療行為の研修を受け、認定を受けた者であれば可能

1 - 4. 移管可能と考えられる業務（専門病棟（NICU・PICU、血液腫瘍など））

	業務内容	移管先	ボリューム	移管が可能と思われる理由
1	採血（小児専門病棟）	看護師	約10分/件	現行法のもと看護師が実施可能な行為 なお、1件につき2-3人の人手が必要
2	抗生剤等の静注（小児専門病棟、NICUなど一部病棟を除く）	認定された看護師	10分/件 （準備含む）	特定医療行為の研修を受け、認定を受けた者であれば可能
3	静脈路確保（小児専門病棟）	看護師	20分/件 （準備含む）	採血より難易度は高いが、練習により習熟が可能
4	動脈ライン採血	看護師	5分/件 （準備含む）	現行法のもと看護師が実施可能な行為である ただし医師による指導、監視が必要
5	皮下注射、筋肉注射	看護師	10-15分/件 （準備・書類の処理含む）	現行法のもと看護師が実施可能な行為である 実際には業務移管が進んでいない
6	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	認定された看護師	5分/件	特定医療行為の研修を受け、認定を受けた者であれば可能
7	胃ろうカテーテル、腸ろうカテーテル、胃ろうボタンの交換		10分/件 （準備含む）	
8	気管カニューレ交換		10分/件 （準備含む）	
9	経口用または経鼻用気管チューブの位置の調整		10分/件	
10	非侵襲的陽圧換気の設定の変更		5分/件	
11	抹梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入		20-30分/件	
12	末梢留置型中心静脈注射用カテーテル・動脈ラインの抜去		10分/件	
13	光線療法開始・中止 （検査結果プロット・判断）	看護師 （NICU限定）	5分/件	
14	輸血、放射線検査などの医療行為の定型的な説明補助	看護師	20分/件	輸血の同意書、定型の検査同意書など、所定の説明文に基づく説明、または動画を一緒に閲覧し医師の説明の前後に補足的に行うものであれば可能
15	搬送に伴う看護業務	看護師	1~5時間/回	看護師の勤務配置の問題が解決されれば医師に同行可能 現状では医師のみで行っている場合が多い

3. タスクシフト推進に関する課題について

	業務内容	課題
1	看護師の特定行為全般	カリキュラムの作成と研修システムの構築
2	公認心理師による心理的支援	公認心理師の十分な配置
3	薬剤師による薬の説明や服薬指導	薬剤師養成課程カリキュラムに小児科専門業務に関する教育を組み込むこと
4	管理栄養士による栄養指導	専門領域が多岐にわたる小児について養成課程のカリキュラムに組み込むこと

4. タスクシフト先進事例について

一般社団法人日本小児臨床アレルギー学会が看護師、薬剤師、管理栄養士を対象に資格認定している小児アレルギーエデュケーター制度は、アレルギー専門医（小児科）のもとでの2年以上の研修、2回の講習会受講、試験の実施、レポート提出をもってアレルギー専門看護師、薬剤師、管理栄養士を認定し、既に450名が全国の病院、クリニックで活躍している。上記の診療、検査、治療の補助を行うことができるため医師の業務軽減に大きく貢献していることが示されている。

小児アレルギーエデュケーターが診療に参画することでチーム医療が容易になり、医師は、診断、アセスメント、治療方針の最終決定、処方箋作成に専念できる。

【小児アレルギーエデュケーターが行うことが可能な業務例】

- ・喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー診療の問診
- ・喘息の運動負荷試験
- ・アトピー性皮膚炎のスキンケア指導
- ・アトピー性皮膚炎の皮膚症状の重症度評価
- ・アトピー性皮膚炎の軟膏使用量の計算 など

5. 小児領域ではタスクシフトできない（すべきではない）業務

業務内容	理由
病態・病状に影響を与える可能性がある処置	未熟児、肺高血圧、重度心不全、重度脳性麻痺の児などでは、単純な処置であっても病態・病状に重大な影響を与える可能性がある
静脈注射（新生児期、乳児期等）	微量の薬剤を扱う新生児期、乳児期の医療では特定行為の研修システムが構築されていない
一部の採血、静脈路確保、尿道カテーテル挿入など	新生児や先天異常を有する児では相当の習熟を要する
静脈採血・注射・ライン確保、尿道カテーテル これらの一部	未熟児、重度脳性麻痺、神経発達症等では、処置にそのものが病態・病状に重大な影響を与える可能性がある
静脈採血、静脈ラインの確保	新生児、乳児などでは、医師以外では技術的に困難 訓練に相当の時間を要す
初療時の予診	小児の予診は、病状の聴取に止まらず、養育状況の把握などを行う場であり、虐待やいじめなど重大な問題の早期発見の貴重な機会でもある これらは形式的な問診・診察のみでは見逃されるケースも少なくなく相当の経験を要する
検査手順の説明	一部の検査では、検査の具体的内容・意義を説明することが病態の説明に他ならないため
救急車による患者移動	呼吸抑制、けいれん等の事態に際し、対応には相当の知識・経験を要する
鎮静下の小児の検査室等への移動付き添い	呼吸抑制などの事態に際し、対応には相当の知識・経験を要する